

網入りガラスの“熱割れ”に注意！

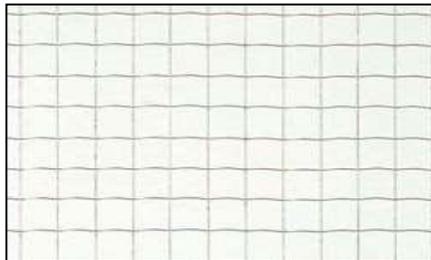
入居者様へ

● 自然にガラスが割れる？

窓ガラスに太陽の陽射し等が当たる事により、窓ガラスの表面温度が上昇しますが、窓枠のサッシに隠れているガラス部分は温度があまり上昇しません。そのために、一枚のガラスで温度差が発生し、ガラスの中央の部分が、膨張しようとするのに、周りの部分がそれを抑えようとするために発生する“力”が、ガラスの耐久範囲を超えると破壊します。この現象を”熱割れ”といいます。特に網（金属線）入りのガラスは、硝子と網の熱による膨張の差があり、熱割れが発生しやすくなっています。

● 網入りガラスは何のため必要？

建築基準法上、建物が防火指定地区にある場合、“延焼の恐れのある部分”の窓については、網入りガラスを使わなくてはなりません。網入りガラスは、火災の熱により割れても、金属線が入っているのでガラスは落下せず、窓に穴が開きません。従って炎が外に出ないので周辺の延焼を防ぐ役目を果たします。又、地震時には、硝子の飛散による人身への危険を防ぐ効果も有ります。



網入りガラス（クロスワイヤー）

● “熱割れ”の予防としては？

熱割れは、いくつかの条件が揃うと発生する現象です。入居者様の使い方によっては、回避できる場合も有りますので、下記の内容にご注意下さい。

- ・窓ガラスに、厚手のカーテン、ブラインド、家具などを密着させて置かない。
- ・エアコンの室外機をガラス面に向けない。ガラス面に色の濃い紙やフィルムで色をつけない。
- ・ストーブの熱が直にガラスに当たらないようにする。
などに気を付けることが必要です。

上村建設株式会社
ハッピーハウス株式会社